

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社なんてん 共働サービス	代表者	蜂谷 裕寛	法人・ 事業所 の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おとしよりの側に立った支援</li> <li>・地域も一体化となった運営</li> <li>・地域の方に向けた百歳体操を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅看取りの支援</li> <li>・知的障がいのあるスタッフ</li> </ul>
事業所名	秋桜舎	管理者	溝口 弘			

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	2人	1人	1人	人	1人	3人	人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・短時間スタッフ全員が自己評価を行う	・短時間スタッフ全員に自己評価に取り組んでもらったが、個人的な理由で2名のスタッフが実施出来なかった。	・実施可能な計画であった。	・チームとして全体ミーティング自己評価の振り返りをする。
B. 事業所のしつらえ・環境	・玄関先駐車場屋根の設置の検討を、もう1度設計士さんと協議する	・設計士さんと協議した結果、消防法の関係で避難場所に当たる場所には一切の構造物を建ててはいけないとされた。	・お風呂脱衣所入り口の開閉時の音の改善についての検討。	・居室の畳の一部入れ替え。
C. 事業所と地域のかかわり	・常会当番月に常勤スタッフも参加する	・常会には常勤スタッフ3名の参加が出来た。ほとんどが顔見知りであったが、より交流が深まった。	・運営推進委員さんより、ご近所さんによるお話ボランティアはどうか？という意見をいただいた。	・歌を中心としたミニ交流会を企画する。(2回/年)
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・Uさんの地元サロンに参加をする	・計画については、本人と家族に申し出たが前向きな回答ではなかった。	・小学校のマラソン大会の応援のあと、ご近所さんに椅子を片付けていただいた。	・地域の東海道五十三次の石部宿「田楽茶屋」等のご近所のお店に出向いて昼食をいただく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	・看取りセミナーで運営推進委員さんやご近所さんを入れた寸劇を行う	・看取りセミナーでの寸劇が出来て好評であった。	・運営推進委員の方から秋桜舎スタッフの危険な運転に対して重大な忠告があった。	・法人内同一事業所“樹林”と場所を入れ替えての運営推進会議を行う。(1回/年)
F. 事業所の防災・災害対策	・夜間の避難訓練の緊急連絡のみの訓練を行う。 ・避難訓練時のスタッフ連絡網を作成する	・スタッフ連絡網に沿って、夜間の緊急連絡のみの避難訓練を実施出来た。	・緊急連絡のみ実施したが実際に地震が起こり電話確認出来ないケースでは、安否確認の方法などの意見があった。	・事業所前を流れる川の氾濫を想定しての玄関の土嚢積みの訓練を行う。(6月予定)